

トピックス **ぶらす**

7/15

市と首都圏の絆を深める

東京都内の東天紅上野店で7月15日、在京町人会連絡協議会総会が開催されました。総会では11月に在京町人会員交流会を開催することが決定されたほか、市から東日本大震災の被害状況やコールセンター立地などの情報提供が行われました。また、懇親会では市長を交え、各町人会の近況報告や情報交換を行いながら大いに交流を深めました。



▲総会に出席した各地区町人会の代表の皆さん

7/24

行政と住民が協力し保全活動

住み良い道路環境を作ろうと、米山町畑崎地区の住民による道路保全活動が7月24日、県道河南米山線において行われました。当日は、県土木事務所の協力のもと多くの住民が参加し、通行の際危険だった側溝にふたを設置しました。同地区では今後、県と協力し道路の美化活動を行う「スマイルサポーター」として各種活動を行っていきます。



▲重いふたに苦戦しながらも、皆で協力して設置

7/31

木のぬくもりのある明るい駅舎

JR東日本石越駅新駅舎の完成セレモニーが7月31日、駅前広場において開催されました。式では小牛田駅の古川駅長が「多くの皆さんに愛される駅舎を目指します」と、あいさつを述べたほか、関係者によるテープカットが行われました。また、アトラクションでは石越中学校吹奏楽部・石越金鶏太鼓の演奏が披露され、駅舎の完成を祝いました。



▲市民に親しまれる新駅舎完成を記念しテープカット

8/19

安全・安心な食材の提供に向けて

福島第一原発事故による風評被害の解消や、生産者として放射能への正しい知識を身につけようと8月19日、「放射能に関する基礎知識研修会」が開催されました。研修会には、市内認定農業者約200人が参加し、広島大学遠藤暁准教授による県内の放射能汚染の状況や農産物に与える影響などについての講話に熱心に耳を傾けていました。



▲生産者として、放射能への正しい知識を学ぶ

陶芸体験で心を豊かに

津山で「森の子ども陶芸教室」

芸術文化活動をとおして心豊かな子どもを育てることを目的に、津山陶芸館において「森の子ども陶芸教室」の1回目が8月2日に開催されました。この教室は長い夏休みの期間を利用し、津山町内の小学生を対象に毎年開催されていて、陶芸製作の基礎から色付け、完成までの工程を学びました。子どもたちは使い慣れないろくろや、なかなか思いどおりにならない粘土に苦戦しつつも、完成した作品を想像しながら、思い思いにいろいろな形の作品を楽しみながら作りました。



▲慣れないろくろに苦戦しながらも、思い思いの作品を作りました

お盆の伝統行事でにぎわう

登米「とよま盆踊り大会」

登米地区の夏の伝統行事になっている「とよま盆踊り大会」(とよま盆踊り実行委員会主催)が8月15日、帰省客や地域住民の皆さんなど約400人が参加し登米交通公園で開催されました。公園の中心にやぐらが組み立てられ、カラフルなちょうちんが飾られた会場では、子どもからお年寄りまでがやぐらの周りに輪を作り、おはやしや盆踊り唄に合わせて踊りを楽しみました。また、恒例のお楽しみ抽選会が行われ、市長賞やコミュニティー会長賞など豪華な賞品が当たるたびに会場からは、大きな歓声が上がっていました



▲天候に恵まれ、大勢の人が参加して行われた盆踊り大会

安全運転で無事カエル

交通安全協会南方支部「無事カエル作戦」

佐沼地区交通安全協会南方支部で、毎年お盆の帰省時期に実施している「無事カエル作戦」が8月7日に、佐沼警察署、高石・東郷駐在所の協力のもと、県道古川・佐沼線(市役所南方庁舎前)で実施されました。この作戦は、交通ルールを守り、安全運転で家族の待つ家へ「無事帰る」よう願いを込めて実施されたもので、当日は、日曜日ということもあり家族連れの車が多い中、交通安全協会南方支部女性部役員の皆さんが笑顔で可愛いカエルのマスコットを1台1台の車に届け、安全運転を呼び掛けました。



▲「安全運転を」とカエルのマスコットを配布し交通安全を呼び掛け